

## 第12回中海会議【概要】

日 時 令和3年10月13日(水) 14:00~16:00  
(オンラインによる開催)

### 中海湖岸堤等整備に係る調整会議(説明:国土交通省出雲河川事務所長)

#### 【意見等】

##### ■米子市長

中海の湖岸堤の順調な整備について感謝する。また、中海・錦海かわまちづくりについても、引き続き進めていただくようお願いする。

近年、中海水位の上昇傾向が見られ、地球温暖化の影響と思われる高潮の発生も増えている。これに伴い、例えば、地元消防団の待機回数が近年増加傾向といった状況が下流域では起きている。流域住民の安全確保は一致団結して協力して進めていきたいと考えているが、下流域で起きている状況についても気にとめていただきたい。

##### ■出雲河川事務所長

データを精査していないものの、中海の高潮水位が若干高い傾向であることは感覚としては持っている。昨年9月に非常に高い高潮が発生し、中海沿岸においても両県合わせて29箇所浸水が発生した。中海の湖岸堤整備を更に進捗させ、より安全な状況を構築していきたいと考えている。そのために、県及び関係市との強い連携が必要であるため、より一層の連携をお願いする。

##### ■境港市長

中海の湖岸堤整備について、短期整備箇所の渡漁港と西工業団地の貯木場が完成の運びとなり、感謝する。現在進められている短中期整備箇所の貯木場北側について引き続きお願いするとともに、外江地区での必要な堤防等の整備についても、一体的な整備ができるようお願いする。

本年7月の豪雨や台風9号等による長雨により、境港市では内水氾濫の問題が顕著となった。境港市の場合、中海の水位が高いと排水ができないという地形的な問題もあり、河口部への排水ポンプを設置する必要があり、今後、雨水管理総合計画の着手を考えている。

また、今回の豪雨では、流木やゴミ等が多く流れてきており、例年の倍くらいの清掃活動を実施している。斐伊川流域では流域治水が進めてられているが、治水にあわせてゴミの問題について一緒に考えていきたい。

##### ■出雲河川事務所長

境港市における内水排除の問題は理解している。境港市で検討される内水計画の実行にあわせ、今後実施する湖岸堤整備を行うことで、より効率的な地域の安全確保を取りたいと考えている。

また、ゴミの問題については、水質にも影響を与える可能性もあることから、できるだけ積極的に除去していきたいと考えているので、協力をお願いする。

##### ■鳥取県知事

大橋川改修にあたっては、下流域への影響から、近年の水位上昇を踏まえ、大橋川の拡幅よりも先に下流域の整備を行うことが本来の了解事項である。したがって、下流域でまだ進んでいない整備箇所における進捗を是非図っていただきたい。内水排除についても、国土交通省と締結した覚書に境港の内水排除のことも協力いただけるということで書いてあるので、是非進捗を図っていただきたい。

また、美保湾側に排水しなければならないところが、台風等の影響により河口閉塞を起こしたところもある。こういう対策も急ぐべき時代に来たと思われるので、事業進捗についてご配慮いただきたい。

## ■中国地方整備局長

中海に関する経緯についても重々承知している。したがって、高潮対策としての湖岸堤整備や、大きな洪水対策としての大橋川改修について、上下流のバランスを考えながら平行して進めていきたいと考えているので、引き続き協力をお願いします。

また、気候変動の影響により雨の降り方が想定と異なってきているということは事実であると思う。今後は、想定される雨量等についても見直しが必要になってくることもあり得る。その点についても念頭に置きつつ、今後の河川整備を進めていくとともに、河口閉塞など想定と異なった事象についても事実関係を確認しながら対策を考えていきたい。

## ■出雲河川事務所長

中海の湖岸堤整備については、相対的に浸水の可能性が高い箇所から優先的に整備するという基本的な考え方に基づき着手しており、より一層の事業進捗を図っていきたいと考えている。気候変動の影響も踏まえ、やはり早急に行うことが一つの重要な方法と考えており、予算の確保や関係機関とのより一層の連携について出雲河川事務所としても引き続き努力していく。

## ■島根県知事

予算確保については、関係自治体の長としてもそれぞれの要望等を通じて一所懸命努力していきたいと考えているのでよろしくをお願いします。

### 中海の水質及び流動会議（説明：島根県環境政策課長）

#### 【意見等】

## ■米子市長

これまで、下水道の普及などに一生懸命取り組んできた。地元農家には加茂川への流入負荷を抑制するための浅水代かきの取組にも協力いただいている。地元として、中海のより一層の浄化に向けて引き続き努力していきたいと考えているが、浅場造成や覆砂など効果のある取組について引き続き行っていただくとともに、必要に応じて取組範囲の拡大など効果をより一層大きくする方策も考えていただきたい。

## ■鳥取県知事

埋め立てた際に中海を浚渫した場所についても、引き続きモニタリングをきちんと行い、水質に与える影響を調査していく必要があると考える。また、過去に行った森山堤防開削による水質の影響や、そのモニタリングなどを精力的にやっていただきたい。

また、宍道湖からの流入負荷の影響についても両県協力しながら継続的に検証し、効果的な対策を国土交通省、農林水産省にも協力いただきたい。

鳥取県の湖山池でも水質汚濁が問題になっており、池周辺で浅水代かき等を行うなどして、今ではシジミが獲れるまで改善してきている。地道な努力ではあるが、農林水産省の事業の活用の可能性など、引き続きご指導をお願いします。

## ■安来市長

平井知事と同じく浚渫窪地が一番の問題と思う。以前、民間会社と大学が共同開発した深層酸素供給装置の実証実験が中海でも行われていたと思う。これは、ダム湖のヘドロ内に酸素供給するという趣旨でつくられたものであり、そういった内容についても情報をもっていればお示しいただきたい。

安来市では、20数年前より冬季湛水を実施しており、有用微生物のみで稲作を行っている。環境がよくなり、コハクチョウの寝泊まり場にもなっている。これまで約800haのほ場整備を行っており、そ

ここではなるべく代かきをしないなどの努力を行ってきている。農業における流入負荷の対策について安来市も努力しているということも知っていただきたい。

#### ■松江市長

水質の研究については、多面的に相当進んでいるとの印象である。自治体単独では水質の保全対策を論じることは難しいと思っており、研究成果について、できるだけタイムリーに情報を還元いただきたい。また、各自治体において取り組むべき水質保全対策があれば示唆いただきたい。

#### ■島根県知事

新しい取組の効果検証と、その取組をどのように展開していくかは今後検討していきたい。

水質のトレンドが改善に向かっている、寄与度では流入負荷の要素が大きいということで、色々なマクロとミクロの取組をどの程度組み合わせしていくか、そして覆砂事業は国土交通省の直轄事業としてどの程度のもをどの程度の量でお願いしていくかということについて、財政的なこともあるので、個別問題として、両県及び国で調整のうえ継続していくということで対応していきたい。

### 中海の利活用に関するワーキンググループ（説明：鳥取県令和新时代創造本部長）

#### 【意見等】

#### ■米子市長

全国的にサイクリングのブームとなっており、非常に素晴らしいコースが次々とできているところであり、鳥取県においても米子市、境港市にかけて弓ヶ浜サイクリングコースというサイクリング専用コースがつくられたところ。中海周遊コースを走行したサイクリストによると、ハード整備、看板設置、休憩所等の整備などまだまだ進化させていかなければならない点があるようで、より一層良いものになるよう皆さんと協力していきたいと考えているのでよろしく願います。

#### ■境港市長

中海のワイズユースとして、中海の魚介類を使用した食を紹介する交流イベントの事業紹介があったが、境港市においても、過去に「中海七珍」を取り上げて魚介類をPRしてきた。ただ、それらの魚介類はいつでも食べられるわけではなく、漁獲量も減少し、市場にも出てこないという状況であった。今後、中海の水産資源の情報発信をしていくためにも、中海の水産資源量や市場に出ている魚種など水産資源に関する情報を提供いただきたい。

#### ■島根県知事

アフターコロナが見えてきたわけではないが、来年以降は様々なイベントを開催していかなければならないと考えている。中海関係の各種イベントについて、皆様と相談させていただき、できるだけ多くの方に様々な地域から来ていただけるよう引き続き取り組んでいきたい。

### 中海の水産資源の現状について（説明：島根県政策企画局長）

#### 【意見等】

#### ■松江市長

水産資源と水質改善の関係性等について、不明な点も多いとは思いますが、関係機関が持っている様々なデータを活用しながら、中海の水産資源について沿岸自治体で議論することが重要と考えている。

#### ■鳥取県知事

豊潤な海を取り戻そうというのは両県域に跨がる中海のテーマであったと思う。中海会議が始まるのと前後して、両県間でも漁業に関する鳥取・島根両県協議会ができて以来、漁業に関する各種調整を行

ってきたところである。中海会議とあわせて、両県協議会でも漁業資源の回復や利活用について役立てられるのではないかとと思うので島根県知事のほうで考慮いただければと思います。

**中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ（説明：米子市経済部農林水産振興局長）**

**【意見等】**

**■米子市長**

説明のあったとおり、嵩上げ事業が劇的に農地を回復させたと思っているので、引き続き、この事業の継続をお願いしたい。

また、嵩上げする土の土質が合わなければ、農業がやりにくくなってしまうという点が課題である。同じ土質での嵩上げ、異なる土質でも営農できる作物の研究など、今後、課題解決に向けて進んでいくことを望んでいるので、協力をお願いする。

**■安来市長**

今後の対応として、国庫補助事業の活用を検討されているようだが、農地中間管理機構関連農地整備事業は面的整備のみの補助事業であり、頭首工等の附帯施設は事業対象外である。この点について、農林水産省の方でまた検討いただきたい。

**中海におけるアマモ等の生育調査結果について（説明：国土交通省出雲河川事務所長）**

**【意見等】**

**■境港市長**

境港市では、従来から中海で生育した魚介類が美保湾に出てくるということもあったので、藻場の造成や定着はどんどん進めていっていただきたい。

**■安来市長**

ハクチョウの餌は海藻であり、海藻のあった昔は下意東でハクチョウが多くいた。着眼点は異なるが、中海の観光という視点で、ハクチョウなどの水鳥を絡めた観光に結びつけるためにも、浅場造成は非常に大事と考えるので、その観点からもまた検討いただきたい。

**■島根県知事**

非常に幅広く色々な項目に関連する意見・質問もいただき、充実した議論であった。

主要な課題である中海の湖岸堤整備、大橋川改修といった治水関連、地域住民の生活に関わる中海の水質改善や農地の排水不良に関する内容、そして中海の利活用など幅広い協議ができたことは大変ありがたく、本日頂いた意見等を踏まえ、各部会、ワーキンググループで更なる前進に向けて取り組んでいくという方針で臨んでいきたいと思う。

中海を中心として山陰両県沿岸各地も含め、この中海とうまく共存、発展していくことに向けて皆様方の協力を引き続きお願いして本日の会議を終わります。本日はありがとうございました。